



酒匂の清流

令和3年9月1日(水)発行

校長 津田 将美

前を向いて進む

ワクチン接種が進み、2学期からはほぼ通常の教育活動が展開されるのではないかと淡い期待をもっていました。しかし、そんな期待も打ち碎かれるような全国の感染増が続いています。オリンピック、パラリンピックのお祭りムードの中、見えない危険がじわじわと広がっている現状は、社会を暗く不安にするものでもありました。

そんな中、2学期がスタートしました。27日付の文書でもお知らせした通り、教育活動も様々な制約を受けながらのスタートです。そして、今までの感染予防対策を今一度見つめ直し、より一層徹底しながら生活を送っていきたいと思います。

夏休み中に、何度か子どもたちに会うことができました。

学童に来ている子であったり、習い事に向かう途中であったり、友だちと河川敷に向かう途中であったりしましたが、どの子も明るく声をかけてくれて、本当に気持ちよかったです。「あっ、校長先生だ。おはようございま〜す！！」

笑顔で元気に声をかけられると、コロナ禍で下を向きがちな心も明るく、前向きになります。感染症対策を徹底しながらの学校生活になりますが、私たち職員も、子どもたちに負けないように明るい気持ちで、前を向いて進んでいきたいと思っています。

8月24日の午前中、職員で2学期の学習活動についての話し合いを持ちました。コロナ対策の徹底が求められ、皆真剣です。やりたくてもやらせてあげられない、という苦しい胸の内がたくさん吐露されました。それでも、子どもたちのためにできることは何か、できる対策は何かを前を向き真摯に案を出しながら、ひとつひとつ丁寧に検討していきました。

午後は、全職員による校舎建築の引っ越しの準備作業です。これは、前日から続いたもので、2月の引っ越し時に少しでも職員の負担を減らし、子どもたちの学びを保障していくためのものでした。

膨大な量の備品や教材を引っ越しで持っていくもの、持っていかないもの、廃棄するものなどに仕分けをし、整理したり運び出したりしました。午前中の重い会議の後、更なる重労働できっと先生方も疲れきっているだろうと、自分の作業が終わってから手伝いに向かいました。

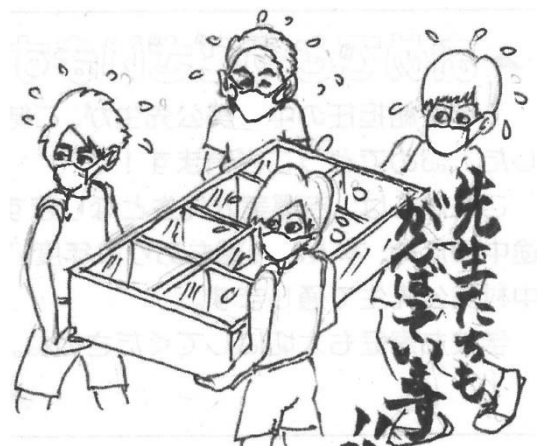
その部屋は、熱気にあふれていました。多くの職員の手でとても整理・整頓がされ、いらなくなったものがはっきりしたようで、廃棄物の運び出しが始まっています。

「この棚、大きいので手伝ってください。」
「は〜い。運びます。ちょっと手が足りないなあ。」
「須田先生(カモチなので…)来てくださ〜い！！」
「は〜い、今行きます〜す！！」

大変な作業にも前向きに取り組む明るい雰囲気の中、私自身の疲れていた心が晴れていくのを感じました。

このような職員集団であることは、本当にありがたいことだな、と思いました。

前を向いて進んでいきます。



本は心の友

「ひろしま 60年の記憶」 近藤絃子：著

被ばく者である近藤絃子さんの原爆投下から、60年にわたる記憶記憶をたどります。被爆者であることを理由とする数々の苦難を乗り越え、戦後の広島を生き延びた絃子さんが、「憎しみの連鎖」を断ち切った瞬間とはどのようなものだったのでしょうか。



夏休みに読んだ本として、始業式で子どもたちに紹介したものです。おととしの広島平和記念日に演説をされた内容が、ずっと心に残っていて購入しました。子どもたちには少し難しい内容ですが、校長室の前に置いて、興味のある人には読んでもらえるようになっています。

戦争の悲惨さを感じると共に、人のためにすることの尊さや自分を見つめる目の大切さを実感し、自分自身を振り返ることのできる本です。

「もしものせかい」 ヨシタケ シンスケ：著

自分が本当に大切にしていたものがなくなったら、悲しみしか残らないのでしょうか。いえいえ違います。大切なものといっしょにすごした経験は、その人の人生にとってかけがえのないものとして、ずっと心に残っていくのです。

うちのわんこが亡くなったことを知って貸してくれたのでしょうか。6年生が紹介してくれました。

大切なものは、いつまでも自分の中にいる…

そんなことを感じさせてくれる本当にすてきな本です。是非手元においておきたい本ですので、購入出来たら、子どもたちも読めるようにしていきたいです。



おめでとうございます！

1年1組担任の中村美公先生が、ご結婚されました。おめでとうございます！！

これからは、吉澤美公先生となりますが、年度途中のため、本人の希望もあり今年度いっぱいの中村美公先生で通します。

学校も家庭も大切にしてくださいね。

1学期の終業式の日、県西教育事務所足柄上指導課の遠藤教育指導員さんを講師に、不祥事防止研修を行いました。今回は「セクハラ・パワハラ」にポイントを絞りました。全国的に教職員の不祥事が報道されていますが、いかに心に根付く研修ができるが大きなテーマです。「セクハラ・パワハラ」を私事にとらえて、身近に潜む危険や油断の洗い出しを行いました。そして、グループワークの中で対策や日ごろの心構えで大切にしたいことなどが話し合われました。

遠藤教育指導員さんからは、不祥事防止の大前提として「風通しの良い職場づくり」についてお話をいただきました。

子どもたちの安心・安全のためにも、不祥事に向き合う教職員の真摯な姿勢を大切にしていきたいと思います。



子どもたちが帰ってきた

学校に、子どもたちの笑顔が戻ってきました。朝の通学路から、いつも通りの元気な挨拶をたくさんしてもらい、本当に気持ちの良いスタートとなりました。

始業式では、コロナ対策について時間をかけて話をしました。自分や自分の周りの大切な人を守るために、できることをして欲しいと思います。

左記の本の紹介の後には、交通事故、不審者対応など、やはり「命を守ること」の話をしてしめました。明るく前向きに進む前提として、安全・安心に十分配慮していきます。

石鹸をしっかりとつけて、一生懸命手洗いをする1年生。なかなかかたくましくなりました。

